

会 議 録

(4-1)

会議の名称		令和7年度 第4回幸松地区地域づくり推進協議会	
開催日時		開 会	午前10時00分
		閉 会	午前11時40分
開催場所		幸松市民センター1階 講堂	
議長(会長等)氏名		会長 鈴木 敏仁	
出席者	委員氏名	(出席人数：10人)	
		鈴木 敏仁、白石 栄二、菱沼 和保、高崎 光英、市川 大倫、 鈴木 淳子、早川 純、田中 聖嗣、根岸 ミサ子、土橋 洋子	
	説明者 その他	(出席人数：1人) 市長 岩谷 一弘	
	事務局	(出席人数：5人) 市民生活部長 飯口 信彦、市民生活部参事 矢野 仁史 幸松市民センター 田口 俊彦、吉田 美智代、蛭間 博文	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1) 令和7年度幸松市民センターにおける地区センター事業報告について (2) 市長への中間報告 「市民センターを拠点とした地域づくりについて」 5 意見交換 6 その他 7 閉会	
		※(すべて公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		資料1 次第4-1 報告事項 資料2 次第4-2 「市民センターを拠点とした地域づくりについて」中間報告 資料3 次第4-3 「幸松市民センターを拠点とした地域づくりについて」推進イメージ	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【1. 開 会】
議長	【2. あいさつ】 《鈴木会長挨拶》
市長	【3. あいさつ】 《岩谷市長あいさつ》
議長	議事録署名人として鈴木 淳子 委員を指名。
議長	【4. 報告事項】 (1) 令和7年度幸松市民センターにおける地区センター事業報告について
事務局	令和7年度幸松市民センター実施の地区センター事業について事務局から説明を求める。
議長	《資料に基づき説明》
議長	(2) 市長への中間報告「市民センターを拠点とした地域づくりについて」
事務局	「市民センターを拠点とした地域づくりについて」事務局から報告をお願いします。
事務局	これより、市長への中間報告をさせていただく。報告者は協議会を代表して田中委員をお願いします。
田中委員	《資料に基づき報告》
議長	【5. 意見交換】 つづいて、意見交換を開始する。当協議会委員として活動した感想等を各委員からご発言いただきたい。
委員	《各委員からの感想》 ・旧住民と新住民の融合は難しいと感じている。秋と春の清掃活動において情報発信を行い、参加を促した。また、防災訓練や清掃活動の参加者に、米や餅を配布した。災害時に備え、普段から地域住民に対し「住民同士の団結力を養うことが大切である」と伝えている。 ・私の地域では「農のある環境」をテーマに地域づくりを進めている。 ・地域に移住して生活しようとする人が増えている。自身の地区では、旧住民と新住民の間に助け合いが生まれており、良い傾向であると感じている。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・ この1年間は大変貴重な時間であった。令和8年度も引き続き協議会に関わり、地域の活性化に取り組んでいきたい。10年後、20年後に、この幸松地区を自分の子どもが「住みたい」と思える地域にしていきたい。 ・ 1年前は何もない状態からのスタートであったが、会議を重ねるごとに徐々に形になっていく様子を見ることができ、委員として携わることができてよかったと感じている。今後も協議会の活動を通して地域づくりに貢献していきたい。 ・ 知らないことが多く、大変勉強になった。来年度は委員として、さらに地域づくりに貢献していきたい。 ・ 微力ではあるが、引き続き地域づくりに協力していきたい。 ・ 会議の場では、委員の発言が「言いつばなし」になってしまう傾向があると感じた。しかし、今回の中間報告は非常によくまとまっており、これまでの議論の成果が形になってきていると感じている。成果には相応の労力が伴うものであり、今回の成果は「協調」と「行動」が伴った結果であると考えている。令和8年度は計画をさらに精査した上で、よりよいものを作っていきたい。 ・ 令和8年度は「こうまつメイト」を具体化することが第一の目標であると考えている。制度が具体化された後は、「会員数の拡大」と「情報発信の強化」が、幸松地区の活性化の鍵になると考えている。 ・ 5本柱の中でも、特に「防災・防犯拠点としての機能強化」に力を入れていきたい。住民の中には「災害時は行政が助けてくれる」と考えている方もいる。しかし、行政の支援が入るまでの間は地域で対応する必要がある。地区センターの防災関連事業を通じて、地域住民一人ひとりの意識を高めていくことが重要である。
議長	<p>貴重な意見ありがとうございました。最後に市長から講評をいただきます。</p>
市長	<p>《講評》 中間報告について 中間報告については大変良くまとまっており、完成度の高さに驚いた。「こうまつメイト」の取組は非常に意義のあるものである。いきなり大きなことに取り組んで失敗するのではなく、スモールスタート、スモールサクセスを意識し、出来るところから小さく始めて、それを積み重ねて作り上げていってほしい。</p> <p>地区センターのとりくみについて 学習コーナーや子どもの遊び場については、市民から「公民館が市民センターになってから、勉強する場所や子どもが遊ぶ場所ができてありがたい」との声が寄せられている。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>議長</p> <p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p>	<p>委員にたいして 地域の防災訓練で参加者へお礼を配布する取組は非常に有効であり、炊き出し等の実施も効果があると考え。「昔のやり方にこだわらず、気持ちよく協力してもらえるよう工夫している」という考え方には大変共感する。従来の「自治会役員は当然引き受けるもの」という考え方は、現在では通用しなくなっている。新住民と旧住民の融合は難しい課題であるが、引き続き取り組んでいただきたい。地区長や自治会長以外の立場からの意見は非常に貴重である。公募で委員になっていただいた方は、来年の会議の場でも積極的に発言してほしい。また女性の防災士が少ない状況である。関心があれば資格取得を検討していただき、防災士としての視点からの意見もいただけるとありがたい。</p> <p>【6. その他】 その他、委員の皆様から何かあるか。</p> <p>《意見なし》</p> <p>事務局から連絡事項等はあるか。</p> <p>①次回の開催日程について 開催日は令和8年5月～6月頃を予定している。</p> <p>②協議内容 こうまつ地区地域づくりパートナー制度（仮称）こうまつメイトの制度設計について協議いただく予定である。また、現在仮称となっているこうまつメイトの正式名称について決定する予定である。</p> <p>③会議録について 議事録署名人の鈴木委員に承認いただいた後、市のホームページで公開する。</p> <p>本日の議事はすべて終了となる。これをもって、本日の議長の職を解かせていただき、進行を事務局にお返しする。</p> <p>議事終了</p> <p>【7. 閉会】</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和8年 5月1日</p> <p>署名者の職・氏名 鈴木 淳子</p>	